

事務事業名	病後児保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ	課長名	田中 孝治
施策名	(22)子育て支援の充実	担当者名	多根 英志	電話番号 (内線)	0854-40-1044 3626
基本事業名	(064)子育て環境の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 110 015 211	病後児保育事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	事業内容 病気の回復期にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を専用施設で一時的に預かる事業。(看護師:常時配置、保育士:児童数に応じ配置) 利用料金:1,500円/日(食事なし1,200円/日) 対象児童:小学校3年生までの児童	病気の回復期にある児童の預かりニーズに対応するため、大東町飯田地内の専用施設で病後児の預かりを実施した。平成21年4月から事業実施

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
委託料(業務委託契約):4,629千円、賃借料(土地、施設)360千円、その他:357千円	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円	2,927	3,308	2,830	2,803		
	地方債	千円						
	その他	千円	114	127	195	90		
	一般財源	千円	2,363	1,860	2,321	1,977		
	事業費計(A)	千円	5,404	5,295	5,346	4,870	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人	4	4	4			
業務委託契約を締結し、委託料を支払う(委託先:NPO法人明育会)	正規職員従事人数	人	4	4	4			
申込受付、決定、利用料徴収。施設維持管理	延べ業務時間	時間	445	445	445			
	人件費計(B)	千円	1,697	1,730	1,754	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,101	7,025	7,100	4,870	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理	ア 登録児童数	人	63	51	65	70		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	病気の回復期にある小学校3年生までの児童とその保護者	⑥ 対象指標							
	ア 利用者数	人	77	86	132	150			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	保護者の子育てと就労の両立を図る。	ア 利用者数/申込数	%	100	100	100	100		
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	子どもが心身ともに健やかに育つ。 子どもを持つ保護者が安心して子育てができる。	ア 子育てしやすいと感じる市民の割合	%	40.5	51.1	61			
	イ 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合(子ども;18歳以上)	%	88.5	89.9	90				

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保護者の就労形態の多様化により、保育に対するニーズも多様化の傾向にある。近年の経済情勢や雇用情勢により、児童罹患時の休暇所得が困難な状況にある。この事業に係る国基準の改正、見直し等による事業内容等の対応が必要である。	保育ニーズに対応するため国基準に基づき実施しているが、開設年度にあたり、登録児童数増に向けた積極的なPR・周知が今後必要である。利用料の軽減や減免検討	利用者アンケートによると「発熱やせきが続き、つくしてゆったり過ごしました。安心して仕事できてとても助かりました」、「笑顔でした」、「慣れないところで不安もありましたが、子どもと事前に見学に行ったので安心して預けられました」等の声もあった。

事務事業名	病後児保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 利用者の負担増、両立支援につながらない。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 住民ニーズを考慮すれば市が関与すべき。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 今後、事業の必要性は拡大すると思われる。H21:77人、H22:86人、H23:132人
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 利用料の減免検討。※平成23年度から市町村民税が課税の世帯のうち前所得税が非課税世帯への半額免除実施。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 利用者の負担増、両立支援につながらない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ エリアにおいて、専用実施は1箇所である <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国の示す実施基準に基づいている、国改正による対応はある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 既に委託しており、市の監視下を実施している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内すべての小学3年生までの児童が対象である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	利用者からも評価の声がある。減免措置も含め、さらに利用しやすい施設となるよう引き続き実施していきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
利用者が増加傾向にあるので、受入態勢の見直しや施設の改修等が必要。																							